

令和6年度 第2回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：令和6年12月26日（木）10時00分～11時10分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

参 加 者：別紙のとおり

司会進行：広報企画課長

1. 開会 広報企画課長

2. 会長のあいさつ

3. 報告

（1）令和6年度事業報告及び決算報告について

【事務局から説明、委員Aから監査報告】

【質疑・応答】

委員B：令和6年度決算報告について、当初予算と比較して雑収入（佐賀県くらしを支える移動手段支援事業奨励金）がマイナス15万円となっていますが、当初の計画と変更があったということでしょうか。

事務局：当初は概算で予算計上しており、奨励金の額が確定したためマイナス15万円としております。

（2）令和6年度市内循環バス及びのりあいタクシーの運行状況報告について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員C：古枝線の山根地区とは。

事務局：山根地区は太良町管轄になります。

会 長：市内循環バス、のりあいタクシーの近年の状況を教えてください。

事務局：乗車無料期間の実施であったり、循環バスで言えば、プレミアム回数券の販売等の利用促進策により、乗客数は増加傾向にあり、徐々に市民に定着しつつあると考えています。

委員B：予約型のりあいタクシー能古見線の1便平均乗車数は約1.6人、古枝線の1便平均乗車数は約3.5人となっていますが、この差の要因を教えてください。

事務局：古枝線においては、5人の学生が通学のために、毎日乗車しておりますので、それが1便平均乗車数の差になっていると考えられます。

(3) 予約型のりあいタクシー（北鹿島地区）の特例登録について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

(4) 市内公共交通利用促進週間（無料乗車期間）の実施について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

特になし

4. 協議

(1) 鹿島市地域公共交通計画の策定（再編）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

委員 D：令和 7 年度実施予定の市内公共交通の研究と令和 8 年度実施予定の交通計画策定業務は同一業者に委託されるのでしょうか。

また、令和 7 年度実施予定の市内公共交通の研究では、住民アンケートやワークショップ等を実施されるとのことですが、それらをもとに新たな交通体系を検討されるということでしょうか。

事務局：業務委託については、それぞれの事業ごとにプロポーザルを実施し、業者選定を行う予定です。

市内公共交通の研究では、住民アンケート等の実施に加え、それらを活用したワークショップの開催により新たな交通体系の検討も視野に入れて進めていく予定です。

承認

(2) 令和 7 年度 鹿島市地域公共交通活性化協議会補正予算（案）

【事務局から説明】

【質疑・応答】

承認

(3) 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

承認

5. その他

(1) ダイヤ改正／運賃改定について（祐徳自動車）

【祐徳自動車から説明】

10月1日にダイヤ、運賃改正を実施させていただきました。

本来であれば、ダイヤ、運賃改正を別時期に実施、効果検証するのがいいんですが、同時に実施という運びになりました。

ダイヤ、運賃改正後の乗車人数は10月／前年比△47,415人（前年比92%）、11月／前年比△39,935人（前年比94.5%）、となりました。イベント等も重なっているため、単純比較はできませんけれども、乗車数が減少したことが分かります。次に運送収入になりますけれども、10月／前年比+11,000千円（前年比102%）となり、お客様は8%減ったけれども、収入は前年並みとなりました。

ダイヤ、運賃改正をしてお客様からのご意見を紹介しますと、バスの利用者というのは比較的に学生さん、高齢者の方が多いわけですがけれども、学生さんはダイヤ、運賃改正に柔軟に対応していただき大きなトラブルは現在発生していません。高齢者の方ですがけれども、一例を紹介しますと、定期的にバスで通院される方で「待っても待ってもバスがこない」ということで、ダイヤ改正についての説明・謝罪をしたところ、「バス停の時刻表は普段見ない」ということで、普段使いの方は時刻表を見られないんですよ。そういったお客様たちからのご意見が多いというのが現状です。

バス・タクシー業界は運転士不足が深刻ですがけれども、運輸支局さんでバス・タクシーに特化した企業説明会も開催していただきますし、行政の方からも支援をいただいておりますので、頑張って維持をしていきたいと考えています。

事務局：全国的に運転手不足ということで、県内外ではライドシェア、AIオンデマンドタクシーを実施など新聞等でも掲載されています。

そういった県内の状況・事例を佐賀県の地域交通システム室の方から、ご紹介をお願いできたらと思います。

佐賀県：これまでさが創生推進課として参加しておりましたけれども、10月末にそういった公共交通の課題にスピード感を持って対応をしていくということで、地域交通システム室が立ち上がったことにより、地域交通システム室として参加させていただいております。

県内でデマンドタクシーは11市町運行をしている状況で、令和7年1月から玄海町が実装されますので、12市町となります。その中でもAIデマンドタクシーを導入している市町については玄海町を入れますと6市町となります。具体的にいいますと、唐津市、多久市（12月実証運行）、武雄市、吉野ヶ里町、上峰町、玄海町（R7.1）が実施をされております。有田町と白石町もデマンドタクシーに移行されていますが、

A I は導入されていません。基本的に乗り合わせが発生しない場合は、A I を導入する必要がないので導入していないというケースが挙げられます。

ライドシェアが一つの人材確保の手段として、国の方でも制度を拡充されていますけれども、ライドシェアについては、大きく分けて2種類ありまして、一つが佐賀市で実施されているタクシー事業者が主体となっていく日本版ライドシェアです。

新聞等でも報道されていますが、採算性の面でも本当にそれが最適で持続可能なものなのかというところでは、疑問が残るかなと感じています。もう一つが武雄市で実施されている自治体等が主体となっていく公共ライドシェアとなります。12月27日の時点で利用の状況を伺いましたところ6日間で片手で数える程度と多い少ないで言えば、少ないのかなと感じているところです。県としてライドシェアはあくまでも一つの手段で、本当にその手段が地域の実情に合っているのかを検討して導入するべきと考えています。

また、事業者さんが支援金制度（→就職者）を採用されている場合に、その支援額の1/2を県が支援する事業が11月議会で承認されましたので、今後少しでも運転士の確保ができればと考えています。

事務局：鹿島市も先日、市議会の特別委員会がありまして、A I オンデマンドタクシー、ライドシェアについて取り組んでいくべきではないかという話が出ております。

鹿島市としては、事業者さんと一緒に様々な見直しをしながら公共交通の維持に努めてきております。新しい取り組みにしていくにしても、事業者さんの協力がないと成り立っていきませんので丁寧に話をしながら進めていきたいと思っております。

先ほどあったA I オンデマンドタクシー、ライドシェアについて、再耕庵タクシーさんからも質問等あればお願いします。

再耕庵：利用者は高齢者の方が多い、ドライバーについても高齢化が進みつつある中で、A I タクシー オンデマンドタクシー導入後のアプリの使い勝手であったり、アプリでの予約についてお聞きします。

佐賀県：アプリで予約されるケースもありますが、ほとんどが電話での予約となっているのが現状です。また、よくあるのが大体タクシー事業者の方はゼンリン地図をお使いになられていると思いますが、A I オンデマンドシステムを入れると大体 Google マップが入るので、乗客が待っている場所が反対車線であった等のドライバー目線で使い勝手に課題がある等のお話は伺っております。

再耕庵：電話予約がほとんどということは、予約の際、従来のように入力作業が必要となってタクシー くると思われるので、今のところはA I デマンドタクシー、ライドシェアについては考えていません。

ただし将来的に廃止代替路線バスが万が一廃止等になった場合などは、ライドシェアを検討してもいいのかなとは思っています。

事務局：他、委員の皆様から何かご質問等ございませんでしょうか？

そしたらもう一つご紹介をさせていただきたいと思います。先ほどバス・タクシーの話になっておりますが、J Rさんと祐徳自動車さんとの協力によって、M a a Sを活用した鹿島から博多までの特急券と祐徳バスの市内のバス路線の無料券もセットになったデジタルチケットを販売しております。

1月まで購入できますので、ぜひご利用いただければと思っています。

長崎本線について、利用促進に向けた取り組みとして、J Rさんにも企画列車等の運行をご協力いただいています。また、本日、肥前七浦駅のトイレが新しくオープンをしており、今朝がお披露目会ということで、行ってきました。みなさまぜひ見ていただければと思います。

会 長：さきほどの話と関連ですが、今年の3月に江北、白石、太良、鹿島で長崎本線の利用促進期成会を立ち上げ、10月にJ R九州さんに要望活動として行ってきました。

そこで、J R九州さんに我々の思いをお伝えして、改善もかなりできてきたんですね。跨線橋の乗り換えがもう対面乗り換えでよかったり、10時台の江北から鹿島の方へ来る列車を1便増便してもらったり、我々もしっかり要望を伝えながら、みなさんの願いが叶うように頑張っていきたいと思っています。

事務局：最後次回の開催予定でございます。次回につきましては来年6月頃に開催予定です。

これをもちまして本会議を終了したいと思います本日はありがとうございました。

8. 閉 会 広報企画課長